

出した日 (=証拠)。こういう
文書で「吉日」はダメ!

2024年●月●日

保護者各位

●●●園

園長 ●●●●●

保育と行事の変更について

冒頭に「日頃からご理解、御協力…ありがとうございます」を入れてはいけません。
理解をしていない人に向けているのですから、いやみになります。

かねてからお伝えしてきました通り、当園では保育内容と行事の見直しを続けています。特に行事に関しましては、「これまでと同じ内容を」という御要望もいただいておりますが、未就学児期の子どもたちで「揃った」「誤りのない」一斉の活動を目指すことは、成長発達上、本来は不可能です。そのような活動を目指いたしますと、保育者はどうしても大きな声や叱り声を出さざるを得ません(私たちおとなの子ども時代を振り返ってみてください)。

子どもたちにとっては、揃うまで、間違いがなくなるまで同じ練習を繰り返すこととなり、活動をいやがったり、登園をいやがったりということにもつながります。楽しいはずの園生活が、毎日、同じ練習の繰り返しで、できずに泣く子どもがいたり、大きな声を出さざるを得ない保育者がいたりするということは、子どもたちと保育者の間の信頼関係にも傷をつけ、いわゆる「不適切な保育」ともなりかねないのです。

今、子どもたちは「お父さん、お母さんにこれを見てほしい」「この話を伝えたい」という内容を自分たちで考え、自分たちで伝え方を工夫し、日々、積み上げています。一方、保育者は子どもたちの「これをしてみたい」「これを作りたい」を支えています。「未完成」「へタ」「幼稚」と見えるかもしれませんが、おとなが無理に動かすのではない形でこそ、子どもたちは主体的に育っていくことができます。

職員一同、保護者の皆さんと一緒に、子どもたちが育っていく後押しをしていきたいと願っております。

この掲示(手紙)は、「そうだよね!」と明確に同意する保護者を増やすためのものであり、「とにかく以前と同じように!」と言う保護者を説得するためのものではありません。なんであれ、説得は不可能なので。